

## 福岡国際マラソン2024

### 【出場結果】

実施日 : 12月1日(日)

コース : 福岡朝日国際マラソンコース 平和台陸上競技場～福岡市西南部周回～香椎折り返し  
(42.195 km)

出場者 : 坪井 韶己

リザルト :

	坪井
タイム	2:22'57"
順位	35／333名(完走者)

### 【レポート】

今年の福岡国際マラソンは、東京2025世界陸上の日本代表選手選考競技会に指定されており、国内のトップランナーが代表の座を狙ってレースに出場しました。

昨年の大会では、当社の加藤が日本人4位となる2時間13分39秒でゴールする健闘を見せましたが、今年の大会には親崎と坪井の2名がエントリーし、親崎については直前の練習で足首を骨折するアクシデントに見舞われて残念ながら欠場となり、坪井は東京マラソンのエリート枠を狙える2時間17分台を目指してレースに臨みました。

海沿いのコースとなるため、例年、強風が吹き荒れことが多いですが、今年は風を殆ど感じない絶好のコンディションの中でレースはスタートしました。



6km地点。第3集団で集団を引っ張る坪井

第3集団でレースを進めた坪井は、5kmを15分48秒で通過し、その後も集団のペースは、ほぼイーブンでラップを刻み、ハーフマラソンを1時間7分32秒で通過、目標とする2時間17分台を狙うには絶好のペースでレースは進みました。



18km地点。集団の中で余裕を持ってレースを進める坪井

35km迄は集団でレースを進め、後半は多少のペースダウンがあったものの5kmを16分30秒程度でラップを刻み、目標の達成は目前かと思われましたが、マラソンの壁とも言われる35km以降に差し掛かると脚がパタッと止まってしまい、ラスト2kmは歩くようなペースの中、総合35位2時間22分57秒でのゴールとなりました。



35km以降は苦しい走りとなりマラソンの洗礼を受けた坪井

## 【総評】

今回レースに臨んだ坪井は、2時間17分台を狙うという明確な目標を掲げて、記録を狙うには理想的なペースでレースを進めましたが、結果として35km以降はマラソンの壁に阻まれ、課題の残る結果となりました。

11月には10000mで29分17秒のセカンドベスト、ハーフマラソンでは腹痛のアクシデントを乗り越えて1時間4分11秒のシーズンベストをマークし、段階を踏んでコンディションを整えてきましたが、35km以降の失速から考察すると、レースに対するピーキングにズレが生じていたのかとも捉えられます。

マラソンは経験がものを言う競技となりますので、今回浮き彫りになった課題を次回のレースでクリアし、応援してくださる皆さんに成長した姿をお見せ出来るよう、日々のトレーニングに取り組んでいきたいと思います。

引き続きまして、皆さまの温かいご声援を宜しくお願い致します。

以上